



富士市立高校では、2年生が総合学習「究タイム」の時間を使い、地域の課題を発見し、その解決を目指して何が出来るか、半年間じっくりと向き合う学習【市役所プラン】を行っています。

高校生が自ら地域の方々と出会い、思いを共有することで、地域住民の一人として自覚を持ち、郷土愛が芽生えることを期待しています。

また、課題解決に向けて、自ら考え行動する力の育成を目指しています。今年度は、10地区〔今泉・吉永・元吉原・須津・吉永北・富士北・富士駅南・富士南・松野・広見〕を対象としています。

校外学習

5月12日(金)、地域の方にお話を伺いながら、まち歩きを行いました。当日は、お天気にも恵まれ、地域の魅力を十二分に感じることができました。

まち歩き後は、質問タイム！ 地域の魅力・課題についてインタビューを行いました。実際に自分の目で見たこと、感じたことから生まれた疑問を地元の方にお聞きすることで、地域の現状と地区活動への理解も深まりました！



中間発表

6月23日(金)、ここまでの活動を通して検討した課題と解決へ向けた提案を発表しました。発表会には、まちづくり協議会の役員さん方も出席、生徒さんの提案に熱心に耳を傾けていらしたのが印象的。地域の特産物を活かした商品開発、名所旧跡のさらなるPR、新しいイベントの企画など…たくさんのアイデアが出ました。発表後の役員さんを囲んだ協議も盛り上がっていたようです。



最終発表

最終発表会 が開かれます！

来る9月27日(水)はいよいよ市役所プランの最終発表会。夏休みの研究期間を経て、どのような地域課題解決プランが発表されるのか楽しみです！

【発行】平成29年9月
【発行者】富士市市民部まちづくり課
富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)
☎ (0545) 55-2887
🌐 <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>



次号も
楽しみに♪



チカラコブたくん

バージョンアップだコブ!

コブタレポート

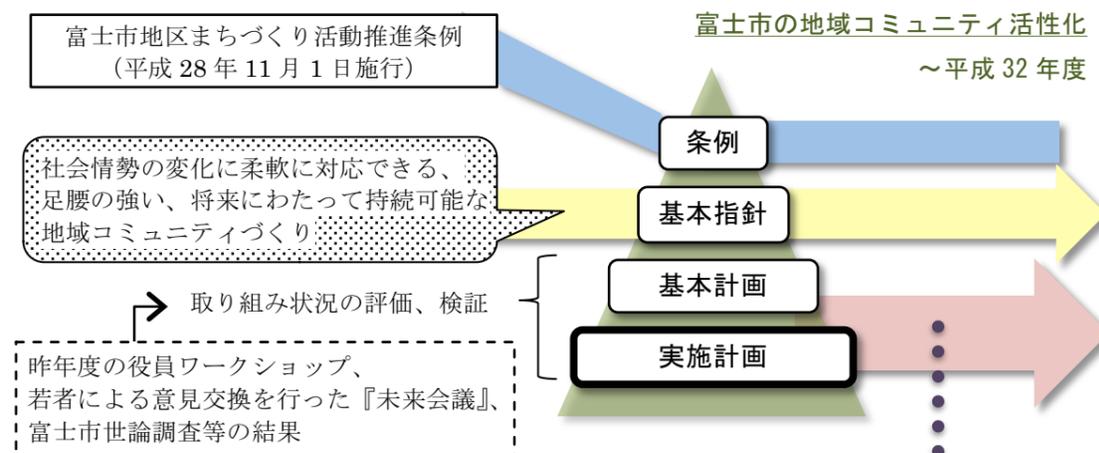
■地域の力こぶ増進計画・ニュースレター■

バージョンアップ

地域の力こぶ増進計画 更新!!

平成24年3月に策定された『地域の力こぶ増進計画』の実施期間である平成29年3月までに、富士市内の全26地区でのまちづくり協議会の設立や各地区のまちづくり行動計画策定、富士市地区まちづくり活動推進条例制定などが進められてきました。

今後も、「持続可能な地域コミュニティづくり」をさらに推進するため、平成32年度までの4年間の、市の支援の方向性や取り組みの手順がまとめられました。



活動実施体制：まちづくり協議会の基盤を強化する

協議会の活動が円滑にかつ発展していけるよう、財政、会計事務、拠点、人などの面からサポートします。今年度から、「防災」「広報」「交通安全・防犯」についての活動を応援する富士市まちづくり協議会活性化補助金制度が始まっています。

ひとづくり：まちづくり協議会の活動に関わる人を増やす

若者やアクティブシニアなど、幅広く市民がまちづくり協議会活動に参画できるような環境づくりを進めるとともに、世代間交流の場づくりなどを支援します。

活動の場・連携：まちづくり協議会と様々な主体とのつながりをつくる

まちづくりセンターの環境を充実させ、区内や地区同士の連携を進められるよう、また、企業やNPOなどとの交流ができるよう情報発信などの面からサポートします。

特集◆まちづくり活動のシンボル作り



青葉台

ゆるキャラ「茶助」誕生♡

青葉台まちづくりセンターを訪れると、玄関で「茶助」がお出迎え！「茶助」はお茶っ葉の羽がついたキュートなお茶の妖精。青葉台地区のマスコットキャラクターです。

このマスコット像は地元企業の協力により、FRP(繊維強化プラスチック)で制作されました。

生みの親は青葉台小・三澤八大くん。原画から地元イラストレーターの梅原香奈さんがボランティアでデザイン化していただきました。アイデアをカタチにできる人材が豊富な地区ですね。



茶助へ込めた思いとは？

マスコット募集を呼び掛けたのは、地区まちづくり協議会で広報を担当する和久田恵子さん。(左写真)

青葉台地区は新興住宅地であるため、歴史的な古いものがあまりありません。そこで、「子供達が地元・青葉台を思う時に、思い出に残るものがほしい」と考えたそうです。

青葉台地区では、広報誌を年2回発行しており、誌上で呼び掛け続けました。しかし、なかなか応募がありません。それでも根気強く募集し続け、青葉台小学校の20周年に合わせ、小学生に応募をお願いしました。そして、ようやくゆるキャラ250点が集まり、その中から優秀作品を選びました。

マスコットキャラクターの誕生をきっかけに、協議会会長の提案で、茶助をモチーフにしたクラフト作品(ストラップ・パッチワーク・ちりめん等)制作などの活動にも発展しているそうです。



今後の展開は？

すでに、広報誌の表紙には登場していますが、現在、茶助の認知度アップと今後のイメージ戦略を検討中！

10月28日(土)の地区と小学校20周年記念式典に向けて、着ぐるみを作成中です。また、絵本の執筆を計画しているそうですよ！

青葉台地区は、マスコットキャラクターの活用で地区のイメージアップと若い世代の増加や、まちづくり活動への参加に期待をかけています。



吉原

「躍進吉原」の復活♪

平成28年10月30日、吉原地区文化祭(於:吉原小学校体育館)において、富士市制50周年を記念して、吉原地区生涯学習推進会を中心とする地区の皆さんと吉原小学校4年生による合唱が行われました。

曲は、「躍進吉原」「吉原市民歌(昭和32年制定)」「富士市民歌(昭和42年制定)」です。



歌で心を一つに…

「躍進吉原」については、譜面が残っていなかったため、町内会長など複数の方に実際に歌ってもらい、シャンソン歌手の高木満寿美さんに譜面に起こしていただきました。

今後も、心のうたとして、歌い継いでいくそうです。

「躍進吉原」と市民歌は、市のホームページで合唱音声聞くことができます！

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/shisei/c1202/rn20la000000pp4z.html>



みんなで祝おう！

文化祭では、合唱のほかにも、まちづくり協議会・子供会・小学校が中心となって、巨大タペストリーも制作しました。

折り紙で作ったバラで、富士山と市制50周年ロゴマークを形作り、周囲には子供から大人までそれぞれの願いを書いた葉っぱを配しました。

文化祭終了後1ヶ月間、ロゼシアターで展示されていましたが、なんとトラックで運搬したそうですよ。



吉原のシンボルを！

協議会の旗については、旗を作ることで協議会の認知を広げていきたいという思いがあったそうです。

デザインは、吉原市章の歯車とYのデザインを踏襲したかたちとなりました。

市章のカラー写真が残っていないため、色は他の団体と重ならない水色にしました。

この旗は、吉原のシンボルとして、行事の時に掲揚するなど、活用していきます！

